

第60回 教育研究評議会 議事要旨

日 時 平成20年 2月21日(木) 10:30~12:35
場 所 事務局第3会議室(4階)

- 議題1. 稲盛経営技術アカデミーの将来構想について(資料1)
 - 議題2. 学長裁量定員計画を改訂する答申の取扱いについて(資料2)
 - 議題3. 共通教育科目等既修得単位認定規則の一部改正について(資料3)
 - 議題4. 毒物及び劇物管理規則の制定について(資料4)
 - 議題5. 目的積立金の取り崩しについて(資料5)
 - 議題6. 平成19年度補正予算(2次)について(資料6)
 - 報告事項1. 平成19年度FSRC研究プロジェクトの採択について(資料7)
 - 報告事項2. 支払業務の一元化について(資料8)
 - 報告事項3. 平成20年度各会議の開催日について(資料9)
 - 報告事項4. 平成20年度一般選抜(前期日程・後期日程)入学志願状況について(資料10)
 - 報告事項5. 平成20年度グローバルCOEプログラムに係る将来構想について(資料11)
 - 報告事項6. 研究戦略室委員の推薦依頼について(資料12)
- その他
- ・ 国立大学の特色を数値化「科学新聞」(資料13)
 - ・ 鹿児島大学の地域社会に及ぼす経済効果分析調査

[出席評議員] 27名

吉田

皆川、面高、中山、愛甲、渡部、木部、岡部、河原、清原、宮嶋、小田、濱田、植村、鳥居、福井、住吉、前田、岩元、松岡、杉原、緒方、山中、青木、早川、中河、谷口

[欠席評議員] 3名

内田、田中、高松

[オブザーバー]

脇田、飯田、榮鶴、阿部、小野寺、友清、中島

[事務局]

(部長) 小椋、吉良、上田、大前、西幸、寺垣

(課長) 猪村、福澤、執行、山本、川西、縣、溝口、住吉、岩下、内山、向井、三島、吉田

議題1. 稲盛経営技術アカデミーの将来構想について(資料1)

学長から、京セラ関係者で行ったアカデミーの将来構想についての検討結果及びこれまでのアカデミーの設置経過等について、資料に基づき報告があった。

審議の結果、専門職大学院構想は大学の改組等の検討が行われる段階において、改めて、京セラ関係者

と協議しながら検討することとし、今後は、共通教育の充実を支援するため、共通教育科目として、倫理観、哲学、人生観等の人間教育などを取り入れた、全学生が受講しやすいカリキュラムの作成や特任職員の採用を行っていくことが了承された。

なお、審議の中で、専門職大学院構想から共通教育への方向転換には較差があるのではないかと。どのような内容を共通教育で教えていくのか、等の意見が出された。これについては、今後、組織や規則等を改正する必要があるため、各会議において審議していくこととした。

議題2．学長裁量定員計画を改訂する答申の取扱いについて（資料2）

学長から、特任委員会からの答申について、資料に基づき報告があった。

審議の結果、学長裁量定員の抛出数を77から44に修正することについて了承され、実質的に使用できる裁量定員数は6であることが確認された。

また、今後、人件費削減計画等の人事労務委員会等における審議状況によっては、再度、評議会等において検討することを確認した。

議題3．共通教育科目等既修得単位認定規則の一部改正について（資料3）

教務課長から、講義科目が開講されないことに伴う、同規則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

議題4．毒物及び劇物管理規則の制定について（資料4）

財務部長から、毒物及び劇物の適正管理を行うための管理規則の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、薬物管理システムが構築された場合は、再度の改正がありうること。連合農学研究科も必要に応じて、管理部局に追加することも了承された。

議題5．目的積立金の取り崩しについて（資料5）

財務部長から、文科省から承認を得た、平成18事業年度決算剰余金を19年度の繰り越し事業費等に充てるための、目的積立金の取り崩しについて、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

議題6．平成19年度補正予算（2次）について（資料6）

財務部長から、議題5に関連する、第2次補正予算について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項1．平成19年度FSRC研究プロジェクトの採択について（資料7）

学長、愛甲理事、研究国際部長から、同プロジェクトの採択結果について、委員会での審議結果を基に、19年度は7件中2件を採択したこと、FSRCにミニプタ購入経費を計上したこと等が報告された。これまでの研究成果については、自己評価や外部評価を行うこと、また、次年度からは、同プロジェクトは縮小していくことも報告された。

報告事項2．支払業務の一元化について（資料8）

財務部長から、各部局で管理・経理している科学研究費補助金等の業務を合理化するため、支払い

業務を事務局において、平成20年度から一元化することについて、資料に基づき報告があった。

報告事項3．平成20年度各会議の開催日について（資料9）

総務課長から、来年度の会議開催日について、資料に基づき報告があった。

報告事項4．平成20年度一般選抜（前期日程・後期日程）入学志願状況について（資料10）

中山理事から、入学志願状況が資料に基づき報告され、志願者数が更に増加するような対策を講じよう、また、今後実施される試験に、万全の体制で臨むよう協力依頼があった。

報告事項5．平成20年度グローバルCOEプログラムに係る将来構想について（資料11）

研究国際部長から、グローバルCOE申請書類に係る将来構想の概念図について、資料に基づき報告があった。

報告事項6．研究戦略室委員の推薦依頼について（資料12）

学長から、報告事項5に関連して、研究戦略室委員の推薦について依頼があった。

その他

1．国立大学の特色を数値化「科学新聞」（資料13）

学長から、同記事についての紹介があった。

2．メディポリス指宿について

学長から、同施設に対して、本学は知的支援のみを行うこととなっている旨の報告があった。

3．鹿児島大学の地域社会に及ぼす経済効果分析調査

鹿児島地域経済研究所から、本学が地域社会に及ぼす経済効果について、資料に基づき報告があった。

次回教育研究評議会は、平成20年 3月18日（火）10:30からとなった。